

# bir başka İSTANBUL

29

3-AYLIK JAPONCA DERGI

Eylül - Ekim - Kasım 2000

SONBAHAR SAYISI No.29



**JAPON KÜLTÜR VE ENFORMASYON MERKEZİ**  
ÖZEL EĞİTİM VE DANIŞMANLIK HİZMETLERİ LTD.

日本文化情報センター BBI 編集部  
ジャポン キュルトゥル ヴェエンフォルマシヨナルケズィ LTD.

İstiklal Cad. Fransız Konsoloslğu Arkası  
Ana Çeşme Sok. NO.3 JAPON PLAZA  
80060 BEYOĞLU İSTANBUL / TÜRKİYE

Pazartesi-Cumartesi (月~土)

AM 10:00 - PM 6:00

Pazar günleri kapalıdır

日曜日 - 祝祭日休業

\*

2000年9月1日から

日曜日、祝祭日のみ休業

TEL: 90 (212) 251 15 80-81

293 32 49

FAX: 90 (212) 243 65 46

E-Mail:japonkultur@superonline.com



## ビルバシカ イスタンブル編集部だより

### 暖かい小春日和のイスタンブル

夏の暑さに続いて、爽やかな秋を迎えたイスタンブルからメルハバ!

観光大国のトルコは、この夏何とか観光客を呼び戻し、災害前の活気を取り戻しました。

イスタンブルの人々の顔にも少し笑い顔が見え始めたと言えるでしょうか。

さて、一昔前、冬のイスタンブルといえば、灰色に曇った空と海

そして、鼻につく石炭の匂いが象徴的でした。

しかし、数年前イスタンブルの町に天然ガスが引かれ

現在では昔に比べ、10倍空気がきれいになったそうです。

新市街には地下鉄も開通し、イスタンブルはどんどん

新時代のメトロポリタンへと変貌を続けています。

ちまたに見られるイスタンブル市の看板には、「イスタンブル市は働いている!」

と大々的な宣伝が掲げられ、実際市内では大規模な工事が続けられています。

代表的なところで、昔のオトガル(バスターミナル)があったトプカプ地区では

広大な敷地に広がっていた旧施設が見事に取り壊され、文化公園が整備される計画です。

しかし、昔のトプカプのような場所の活気と喧騒が

イスタンブルの町から無くなっていくことは、

ある意味で、私たち外国人が感じるトルコの魅力が失われていくような気もします。

めまぐるしい変貌を遂げるイスタンブルを見つめて、

「ビル・バシカ・イスタンブル」は、来年も新しい「もう一つのイスタンブル」を

お届けします。皆様お元気で!

来年も「ビル・バシカ・イスタンブル」をどうぞよろしくお願い致します。

2000年11月 ビル・バシカ・イスタンブル編集部

## 日本文化情報センターLTD. からのお知らせ

当センターは、2000年9月1日から土曜日も営業致しております。

図書館の蔵書の増加に伴い、2000年6月1日より図書館の会員費を年間2000円から3000円に変更致しております。尚、図書のお借りを頂いた方には、冊数に応じて会員費を割引させていただきます。又、図書のお借りの為にジャポンプラザにご来店なされるのが難しい方は、電話かファックスにてご相談下さい

図書館会員の方には、「これぞ我が人生」を出版記念として50%割引させていただきます。

弊社発行の辞典が日本でもご購入頂けます。日本の紀伊国屋書店で販売されていますので、詳しくは店頭でお問い合わせ下さい。